

グルコース		421000		
グルコース		担当部署		
グルコース		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれる恐れがある		
検査受付時間		緊急対応(24 時間)		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		食後上昇するため、食前採血指示を受けている患者においては食事摂取は禁止		
検体採取の特別なタイミング		負荷試験時や空腹時採血などの指示がある場合、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	1 3 灰	フッ化 Na・EDTA	2	mL
2 他材料	1 3 灰	フッ化 Na・EDTA	2	mL
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体 5)凝固検体		
保管検体の保存期間		当日保存のみ(追加検査については、検査室に要問合せ)		

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		73-109mg/dL 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲				
臨床判断値		早朝空腹時血糖 126mg/dL 以上 随時血糖値 200mg/dL 75goGTT2 時間値 200mg/dL いずれかに該当する場合には糖尿病型と判定。 糖尿病治療ガイド 2016-2017				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
73	109	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	500mg/dL				
	低値	50mg/dL				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>糖質は、単糖類や多糖類として生体内のエネルギー源や貯蔵物質、核酸などの構成成分として生体の構成や機能に重要な役割を担っている。</p> <p>なかでもグルコースは生体内の細胞、特に中枢神経系のエネルギー源として重要な物質でありインスリンや各種拮抗ホルモンの協調により恒常性を保つべくバランスよく調整が行われている。</p> <p>しかし何らかの原因によりこの機能調節がうまく作動できない場合には糖尿病や低血糖などの様々な糖代謝疾患を惹起しその場合は、生命の存続にも重大な影響を及ぼす。</p>				